

外観



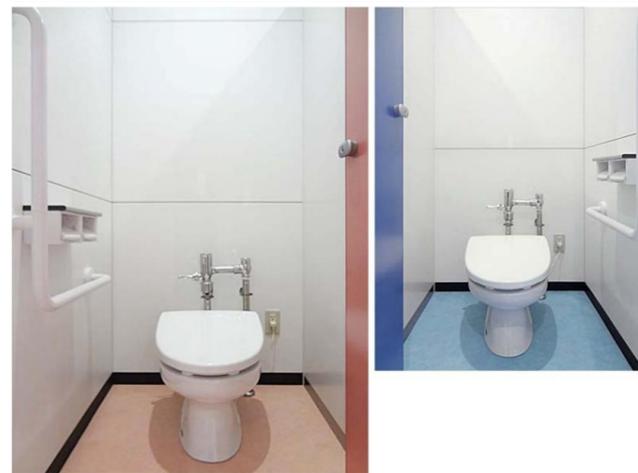
能勢の町花から、愛称「能勢ささゆり学園」と呼ばれる能勢小・中学校は、能勢町内にある小学校と中学校を再編整備して設立された施設一体型小中学校である。

トイレ図面



衛生面に配慮して、大便器はすべて洋式便器、清掃方法は乾式清掃を採用している。

大便器ブース



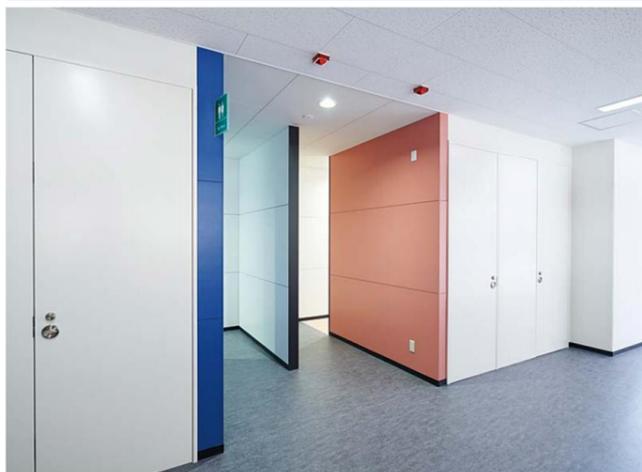
小学生フロアの低学年用トイレには、男女トイレとも小柄な児童に配慮して低リップ大便器を各1ヶ所設置している。

女子トイレ 洗面コーナー



テーマカラーのピンクがすがすがしい印象の床面。洗面器はデザイン性に配慮しベッセル式を採用。洗面器のあふれ面高さは、学年に応じて600mm・650mm・700mmと高さを変えて設置している。

トイレ入口



男女トイレがひと目でわかるように、トイレ入口の壁はピンクとブルーで色分けされている。

男子トイレ 大便器ブース



大便器は、フラッシュバルブ式同様連続洗浄ができる、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用し暖房便座を設置。1ヶ所の大便秘器ブースには、L型手すりを設置している。

掃除流しブース



掃除流しブースは男女トイレに各1ヶ所設置されている。

多機能トイレ



多機能トイレは各フロアに設置。1Fの多機能トイレにはオストメイトなどさまざまな使用者に対応できるように、オストメイト対応トイレバックや収納式多目的シートを完備している。

男子トイレ 小便器コーナー



明るく清潔感あふれる空間に、小便器は床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。

女子トイレ 大便器ブース



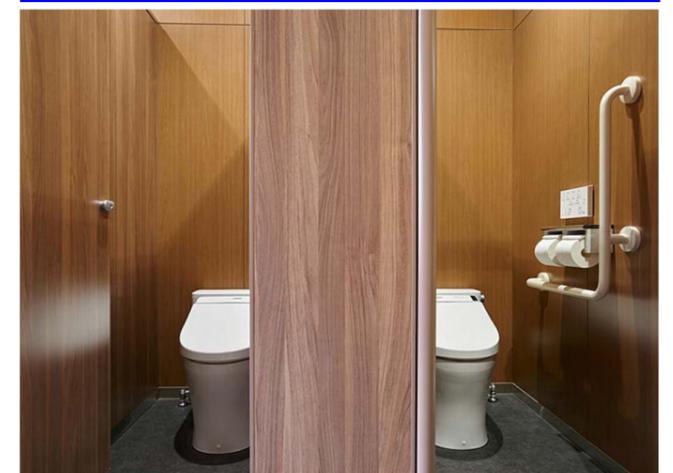
中学生フロア的女子トイレのみウォシュレットが設置されている。

職員用男性トイレ 全体



職員用トイレはブラウンの木目調パネルでコーディネートされた、落ち着いた雰囲気空間となっている。

職員用女性トイレ 大便器ブース



大便器は、パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用しウォシュレットを設置。1ヶ所のブースには、L型手すりを設置している。

支援教室 トイレ図面



支援教室と保健室の間にトイレを設置。両方から出入りができるレイアウトを採用している。

支援教室 トイレ 入口



車いす使用者やトイレ介助を考慮して、ゆとりあるスペースを確保。支援教室にふさわしいユニバーサルデザインを実現している。

ゲート棟 学童保育施設



学校と同じ敷地内にあるゲート棟には、放課後児童クラブという学童保育施設が設置されている。

ゲート棟 学童保育施設 トイレ



学童保育施設のトイレは、家庭のトイレ環境に近い雰囲気となっている。

支援教室 大便器ブース・小便器コーナー



小便器コーナー・大便器ブースとも、車いすでのアプローチや介助できる十分なスペースを確保している。

支援教室 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトに配慮して、オストメイト対応トイレバックを備えた多機能トイレ。

ゲート棟 学童保育施設 トイレ



3ヶ所ある大便器ブースの内1ヶ所のブースには、壁掛小便器が併設されている。

プール棟 トイレ



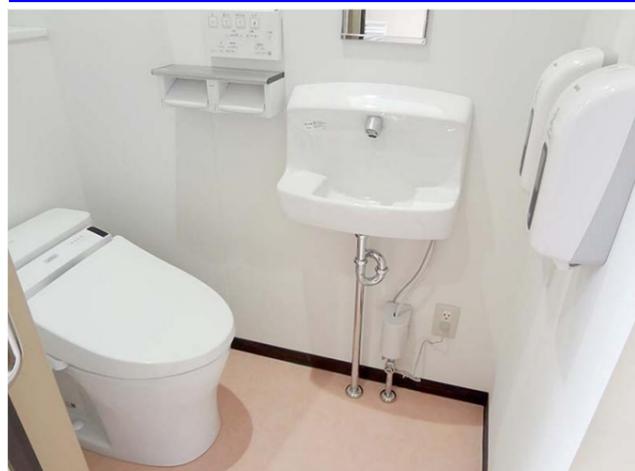
ピンクとブルーで床が色分けされた男女トイレは、更衣室とプールサイドどちらからも直接出入りできるようになっている。

支援教室 シャワールーム



子どもたちが粗相した場合などにも対応できるよう、脱衣室とともに、十分なスペースが確保されたシャワールームを設置。

給食室 トイレ



給食スタッフのトイレには、文部科学省のマニュアルに則り、手洗器・水石けん・消毒用アルコールなど、衛生面に配慮された設備が備わっている。

建築概要

名称	能勢町立能勢小学校・能勢中学校 (愛称：能勢ささゆり学園)
所在地	大阪府豊能郡能勢町平野110番地
施主	能勢町
設計	株式会社大建設計
施工	<建築>株式会社浅沼組
工事期間	2014年12月～2016年1月
竣工年月	2016年1月

水まわりの特長

<施設の概要>

能勢小・中学校(愛称：能勢ささゆり学園)は、児童生徒数の減少に伴い小規模化が進んでいた能勢町内の小・中学校を、クラス替えができる規模にするため、町内にある6つの小学校と2つの中学校を再編整備し、2016年4月、おおさか府民牧場跡地に施設一体型小中学校として開校された。『ネイチャー・ミュージアム・スクール』をコンセプトに“自然から学び自然を大切に自然公園型教育施設”として魅力ある学校づくりに取り組んでいる。校内には学童保育施設も併設。また、遠方から登校する児童・生徒たちをサポートするため、スクールバスが10台用意されている。

<トイレの特長>

衛生面に配慮し、大便器はすべて洋式便器、清掃方法は乾式清掃を採用。さらに環境にも配慮し、大便器は4.8L洗浄のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用している。施設一体型小中学校として、学年による体格の違いに配慮し、小学校低学年のトイレには低リップ大便器を設置。洗面器も学年に応じて600mm・650mm・700mmと高さを変えている。そのほか、保護者の方などさまざまな利用者を想定して、校舎棟のすべてのフロア・体育館棟・プール棟のすべてに多機能トイレを設置している。